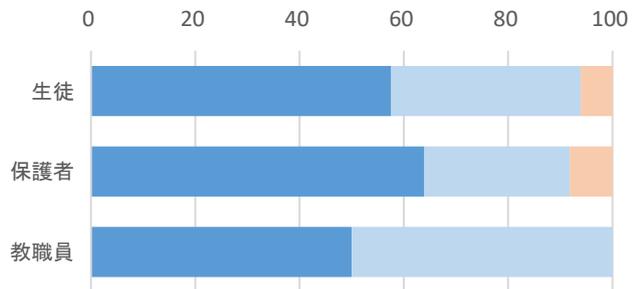


質問 1 全般 に関する項目

- (生徒) あなたは、楽しく学校に通うことができますか。
 (保護者) お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。
 (教職員) 生徒は、楽しく学校に通うことができますか。

1	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	57.6	36.4	6.1	0.0
保護者	63.9	27.9	8.2	0.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

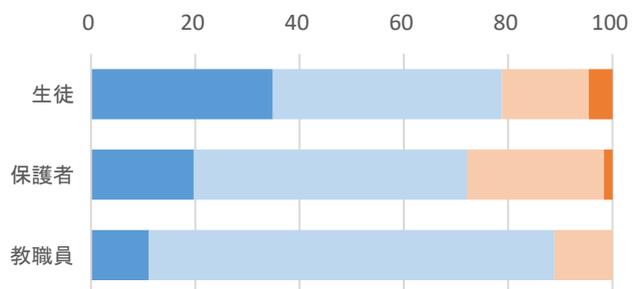
○肯定的な回答は、生徒94.0%、保護者91.8%、教職員100%と、9割以上である。
 日本人は極端な回答を避ける傾向にあるといわれているが、本校生徒の特徴として「あてはまる」等の、いわゆる強い意志を示す項目を選択せず、結果「やや」「どちらかといえば」という選択肢に回答が寄る傾向が見られる。(以後の質問にも同様の傾向)
 ●「あてはまらない」を今回のアンケートで選択した生徒、保護者はなかったが、この質問項目は、回答時の心理状況によって大きく変化すると考えられる。思春期で不安定になりがちな時期であるので、生徒の見取りを丁寧に行い、それぞれの生徒が学校生活を楽しいと感じることができる学校運営に努めていきたい。

質問 2 全般 に関する項目

- (生徒) あなたは、将来の夢や目標を持って生活していますか。
 (保護者) お子さんは、将来の夢や目標を持って生活していますか。
 (教職員) 生徒は、将来の夢や目標を持って生活していますか。

2	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	34.8	43.9	16.7	4.5
保護者	19.7	52.5	26.2	1.6
教職員	11.1	77.8	11.1	0.0

(%)



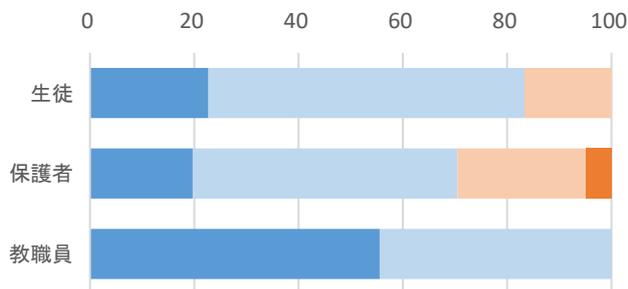
<学校コメント>

○肯定的な回答が生徒78.7%、保護者72.2%、教職員88.9%である。4月に行った全国学力調査やふくしま学力調査の結果と比べると、肯定的な回答が増加している。
 ●否定的な回答の中には、「なりたい職業」や「進学したい高校」を決めることが『夢や目標をもつ』ことだと考えている生徒がおり、『自分にはまだそれがない』と判断しているのではないかと。『まだ決まっていないが、まずは高校に行けるように頑張っている。』という生徒の回答があった。「生き方を自分で決められる時代」になったからこそ、将来のイメージが持たず不安を感じる生徒の支援を継続していく必要がある。

質問3 学習 に関する項目

- (生徒) あなたは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (保護者) お子さんは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (教職員) 生徒は、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。

3	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	22.7	60.6	16.7	0.0
保護者	19.7	50.8	24.6	4.9
教職員	55.6	44.4	0.0	0.0



(%)

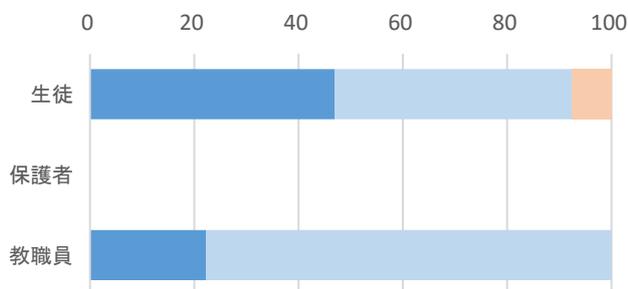
<学校コメント>

○肯定的な回答は、生徒83.3%、保護者70.5%、教職員100%である。本校の特徴として、「課題が終わるまでなんとかやり続けるよう努力する」生徒が多く「正しくできているかどうかを確認する」「内容を自分の知っている言葉で理解する」よう努めている。
 ●「わからないことを先生に聞く」生徒が少ない。「わからないと認識はしているが、何がわからないのかを言葉にできない」ことや「周囲の視線が気になり質問できない」ことが原因として考えられる。小グループの学習形態を活用しながら、質問しやすい授業の雰囲気づくりをする必要がある。

質問4 学習 に関する項目

- (生徒) あなたは、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。
 (保護者) 【※ 児童生徒・教職員のみ回答】
 (教職員) 生徒は、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。

4	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	47.0	45.5	7.6	0.0
保護者				
教職員	22.2	77.8	0.0	0.0



(%)

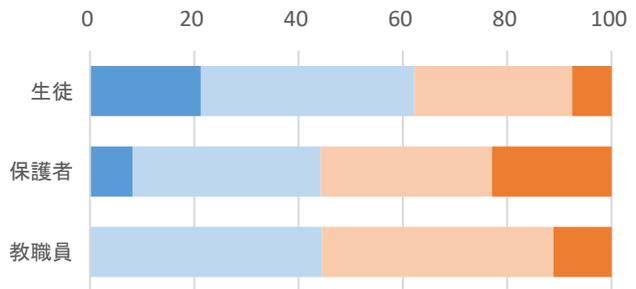
<学校コメント>

○肯定的な回答は生徒92.4%、教職員100%となった。昨年度から、本校ではキャリア教育の充実を掲げ、各学年で学級活動に力を入れている。今年度は、各教科の授業でも対話的な学習活動を意識して取り入れている。学級の中には発言や発表を好まない生徒もいるが、話し合う必要性を感じて、よりよい話し合いにしようとする意識の高まりがみられる。

質問5 学習 に関する項目

- (生徒) あなたは、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。
 (保護者) お子さんは、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。
 (教職員) 生徒は、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。

5	ややあてはまる あてはまる			
	A	B	C	D
生徒	21.2	40.9	30.3	7.6
保護者	8.2	36.1	32.8	23.0
教職員	0.0	44.4	44.4	11.1



(%)

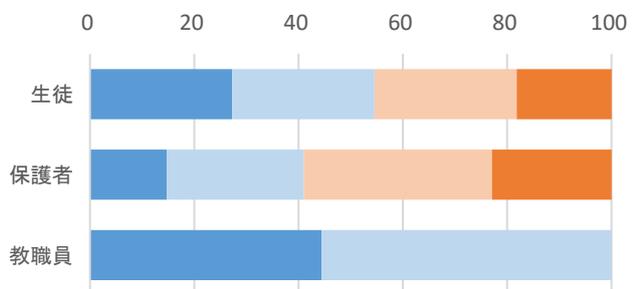
<学校コメント>

○肯定的な回答は、生徒62.1%、保護者44.3%、教職員44.4%と、昨年度と比べると生徒と教職員は同割合だが、保護者の回答は減少している。
 ●中学生として、2時間以上学習している生徒が『6割では少ない』と言わざるを得ない。保護者の方からは「生徒の自主性を尊重することも大切だが、課題を指定して学習させてほしい」という要望をいただいた。家庭学習は学力向上に一定の効果がある。しかし、多すぎる宿題は学習への動機付けや興味を阻害する可能性があるため、目的を明確にし適切な形で取り入れていく必要がある。

質問6 学習 に関する項目

- (生徒) あなたは、読書の習慣はありますか。
 (保護者) お子さんは、読書の習慣はありますか。
 (教職員) 生徒は、朝の読書にしっかりと取り組んでいますか。

6	ややあてはまる あてはまる			
	A	B	C	D
生徒	27.3	27.3	27.3	18.2
保護者	14.8	26.2	36.1	23.0
教職員	44.4	55.6	0.0	0.0



(%)

<学校コメント>

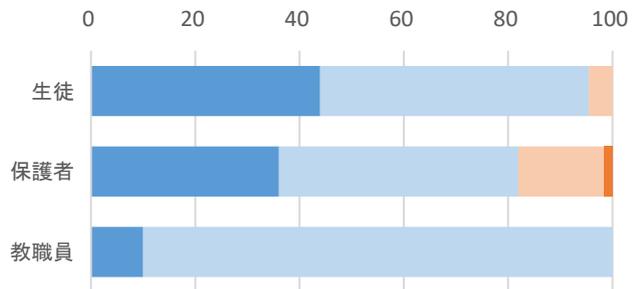
○本校は、朝の時間に読書を推奨しているため、教職員の肯定的回答が100%である。
 ●昨年度より数値的には改善されているが、約半数の生徒には読書が習慣化されていない。生徒の姿から「読書が嫌いではないが読みたい本がない」と考えられる。学区内に書店がなく家庭の蔵書数が少ない実態もあるので、まずは学校図書館の充実を図りながら家庭と連携して読書習慣を定着させていきたい。

質問 7 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、周りの人に気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (保護者) お子さんは、気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (教職員) 子ども達は、気持ちの良いあいさつをすることができますか。

7	ややあてはまる ややあてはまらない あてはまる あてはまらない A B C D			
	A	B	C	D
生徒	43.9	51.5	4.5	0.0
保護者	36.1	45.9	16.4	1.6
教職員	10.0	90.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

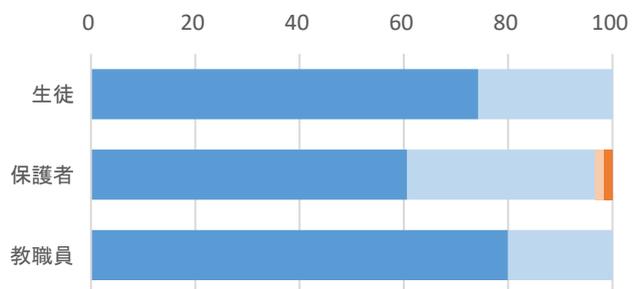
○肯定的回答は、生徒95.4%、保護者82.0%、教職員100%で、昨年度より保護者の肯定回答が若干増加している。
 ●保護者の肯定回答率が、生徒や教職員と比べて低い理由としては、「あいさつの声が小さくて聞こえない」「恥ずかしがって目を合わせてあいさつできない」などがあげられる。「なぜあいさつが大切なのか」その意味を考え、理解させるとともに、学校と家庭や地域が協力して「大人としての手本」となれるよう努めていくことが大切である。

質問 8 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (保護者) お子さんは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (教職員) 生徒は、社会のきまりを守って生活できていますか。

8	ややあてはまる ややあてはまらない あてはまる あてはまらない A B C D			
	A	B	C	D
生徒	74.2	25.8	0.0	0.0
保護者	60.7	36.1	1.6	1.6
教職員	80.0	20.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

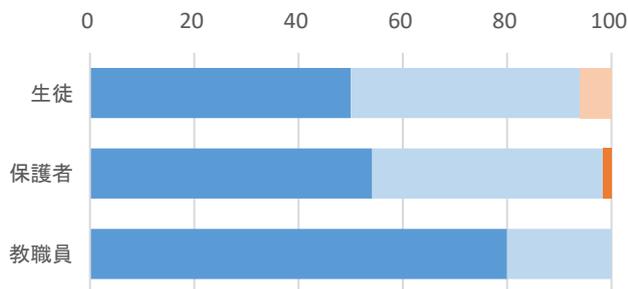
○肯定的な回答は、生徒100%、保護者96.8%、教職員100%と高い。学校生活においても、きまりを守れなかったことによる指導はほぼなかった。
 生徒の姿からも、公共のマナーや危険を回避するためのきまりを家庭で幼少期から継続して習得させていただいていることがわかる。

質問9 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、思いやりを持って周囲に接することができますか。
 (保護者) お子さんは、思いやりを持って周囲に接することができますか。
 (教職員) 生徒は、思いやりを持って周囲に接することができますか。

9	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	50.0	43.9	6.1	0.0
保護者	54.1	44.3	0.0	1.6
教職員	80.0	20.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

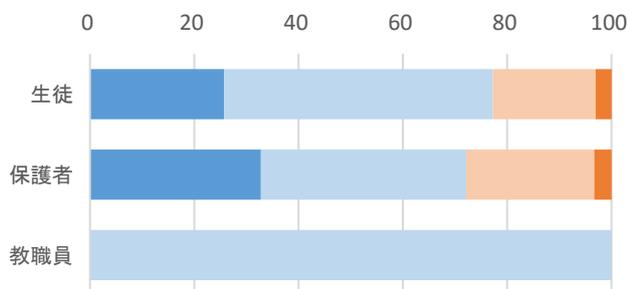
○肯定的な回答は、生徒93.9%、保護者98.4%、教職員100%と高い。
 本校には穏やかな気質の生徒が多く「乱暴な言葉を使った」り「家や学校で頭にきて人やものに当たった」りすることが少ない。温かい家庭環境の中で育てられ、他人を傷つけない気遣いの大切さを理解している。

質問10 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。
 (保護者) お子さんは、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。
 (教職員) 生徒は、規則正しい生活をして、十分な睡眠をとることができますか。

10	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	25.8	51.5	19.7	3.0
保護者	32.8	39.3	24.6	3.3
教職員	0.0	100.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

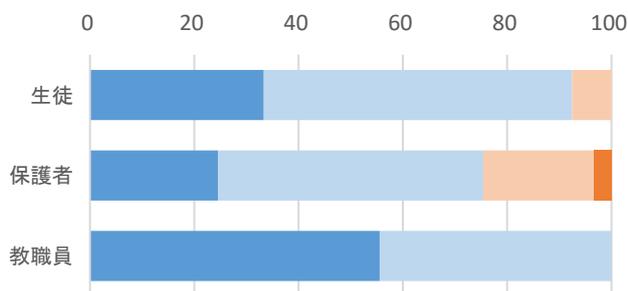
○肯定的回答は、生徒77.3%、保護者72.1%と昨年度より若干上昇している。今年度も生徒と保護者の数値がほぼ一致していることから、意識の隔たりはあまりなく実態に即していることがわかる。
 ●遅い時間に学習する生徒、ゲームやスマートフォン、タブレット等の操作で睡眠時間が減少している生徒が一定数いると考えられる。

質問11 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。
 (保護者) お子さんは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。
 (教職員) 生徒は、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。

11	ややあてはまる あてはまる まる ややあてはまらない あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	33.3	59.1	7.6	0.0
保護者	24.6	50.8	21.3	3.3
教職員	55.6	44.4	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的回答は、生徒92.4%、保護者75.4%である。生徒、保護者ともに昨年度より上昇しており改善がみられる。給食のようすからは好き嫌いなく食べ残菜も少ない生徒の実態が見られる。また、ごはんコンテストに全校生で参加し、マイ弁当の日を設定するなどして、食への関心が高まる取組を行っている。

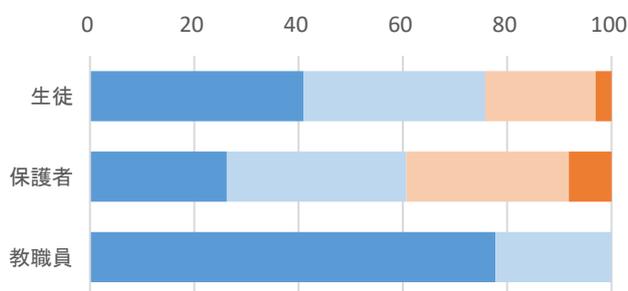
●生徒と保護者の間に認識の差がみられる。家庭では、好きなおかずに偏ったり、お菓子に手が伸びたりする生徒がいるかと予想する。給食だよりや保健だよりをきっかけに、自身の健康と食生活についてさらに関心を高められるよう、情報提供を行い食育の充実を図りたい。

質問12 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、めあてを持って運動をしていますか。
 (保護者) お子さんは、めあてを持って運動をしていますか。
 (教職員) 生徒は、めあてをもって保健体育の授業や部活動に取り組んでいますか。

12	ややあてはまる あてはまる まる ややあてはまらない あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	40.9	34.8	21.2	3.0
保護者	26.2	34.4	31.1	8.2
教職員	77.8	22.2	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

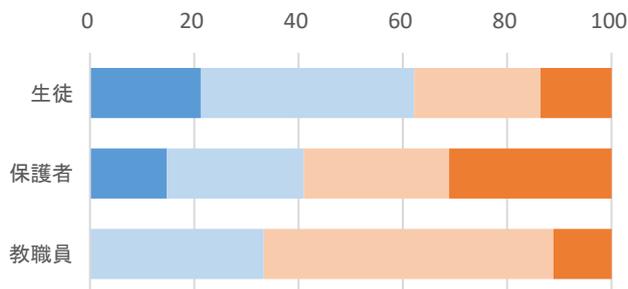
○肯定的回答の割合は昨年度とほぼ同率である。教職員は、保健体育の授業や運動部の活動に限定しているため高い。生徒は、体育の授業が楽しいと感じており、運動部の練習でも意欲的に活動している。

●保健体育の授業と運動部の活動以外に運動する生徒が少ない。また、部活動引退後の3年生の運動量が減少してしまう。昼休みに体育館を解放し、体を動かす機会をつくるようにしている。

質問13 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、家庭でメディアコントロール※を意識した生活をしてしていますか。
 (保護者) お子さんは、ご家庭でメディアコントロール※を意識した生活をしてしていますか。
 (教職員) 生徒は、家庭でメディアコントロール※を意識した生活をしてしていますか。
 (※ゲーム、動画視聴は1日1時間以内。ノーメディアデーの日は0時間)

13	ややあてはまる あてはまる			
	A	B	C	D
生徒	21.2	40.9	24.2	13.6
保護者	14.8	26.2	27.9	31.1
教職員	0.0	33.3	55.6	11.1



(%)

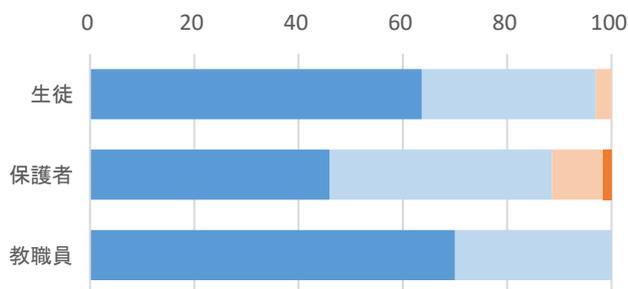
<学校コメント>

●肯定的回答は、生徒62.1%、保護者41%と昨年度よりさらに低下している。また、生徒と大人との認識の差も目立つ。ICTを学習に活用する方向性が示されているので、学校でも望ましい情報端末の利用の仕方を、生徒とともに考え取り入れていかなければならない。また、心身に与える影響や情報モラルについて情報を発信し、家庭と連携していく必要がある。

質問14 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。
 (保護者) 学校は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。
 (教職員) 学校は、子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。

14	ややあてはまる あてはまる			
	A	B	C	D
生徒	63.6	33.3	3.0	0.0
保護者	45.9	42.6	9.8	1.6
教職員	70.0	30.0	0.0	0.0



(%)

<学校コメント>

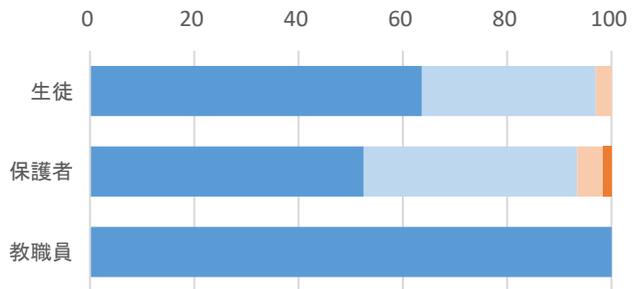
○肯定的回答は、生徒96.9%、保護者88.5%、教職員100%である。昨年度と比較し保護者の「A」の回答率が増加している。
 ●一方で、否定的な回答が保護者にみられた。自由記述の項目には、学習指導や生徒指導へのご意見をいただいている。真摯に受けとめ、生徒それぞれの良さや頑張りを認め、励ます言葉かけをし、生徒の自己肯定感や自己効力感を高める指導を継続していきたい。

質問15 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (保護者) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (教職員) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。

15	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	63.6	33.3	3.0	0.0
保護者	52.5	41.0	4.9	1.6
教職員	100.0	0.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

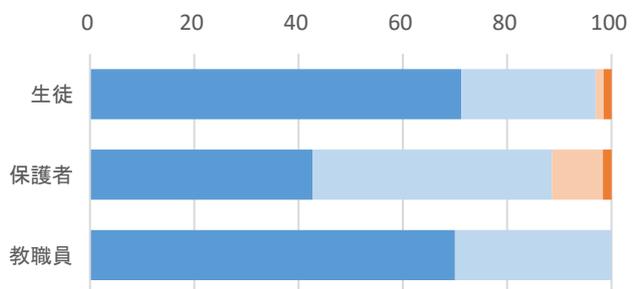
○肯定的回答は、生徒96.9%、保護者93.5%と昨年度とほぼ同様である。保護者の「A」回答率が増加しており、明確な根拠をもって判断していただいたと捉えたい。
 ●一方、否定的な回答が6.5%あった。真摯に受けとめ、信頼を得られる学校運営に取り組んでいきたい。「いじめはどの学級にも、どの子にも起こりうる」からこそ、未然防止と早期発見にすべての教職員で取り組まなければならないことを確認し、いじめ防止への体制を整えていく必要がある。

質問16 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
 (保護者) 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
 (教職員) 学校は、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。

16	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	71.2	25.8	1.5	1.5
保護者	42.6	45.9	9.8	1.6
教職員	70.0	30.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

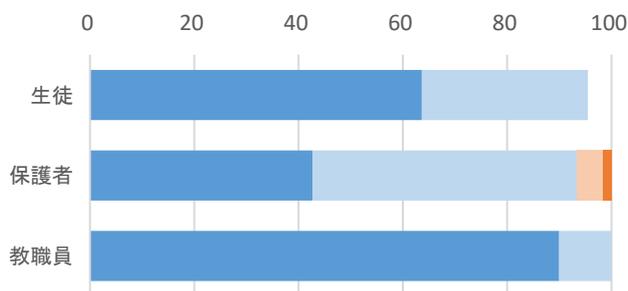
○肯定的回答は、生徒97%、保護者88.5%、教職員100%である。昨年度と比較し「A」の回答率が増加している。
 ●一方で、否定的な回答が生徒、保護者ともにみられた。思春期の悩みは様々であり、中には悩みを隠して元気にふるまっている生徒もいる。「先生は自分のことを分かってくれる。理解しようとしてくれる」と思えるような関わりかたをしていきたい。

質問17 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の要望に迅速に対応していますか。
 (保護者) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。
 (教職員) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。

17	ややあてはまる あてはまる				ややあてはまらない あてはまらない		あてはまらない ない	
	A	B	C	D				
生徒	63.6	31.8	0.0	0.0				
保護者	42.6	50.8	4.9	1.6				
教職員	90.0	10.0	0.0	0.0				

(%)



<学校コメント>

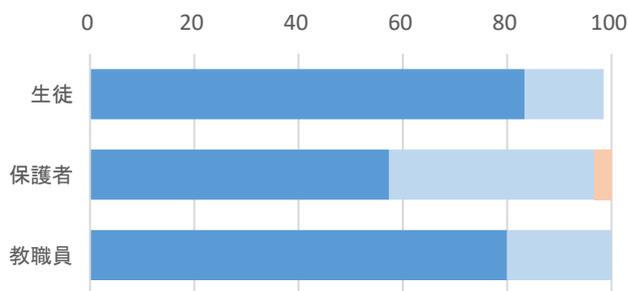
○肯定的な回答は、生徒100%、保護者93.4%であった。
 すべての生徒が肯定的に回答したことは、教職員が生徒の希望を尊重し、実現を目指して関わってきた成果として捉えたい。
 ●今年度、自由記述の項目に校舎、校地の修繕要望を多くいただいている。予算がなく修繕に時間を要するものや、実現が難しいものがある。次年度以降対応していきたい。

質問18 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えてありますか。
 (保護者) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えてありますか。
 (教職員) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えてありますか。

18	ややあてはまる あてはまる		ややあてはまらない あてはまらない		あてはまらない ない	
	A	B	C	D		
生徒	83.3	15.2	0.0	0.0		
保護者	57.4	39.3	3.3	0.0		
教職員	80.0	20.0	0.0	0.0		

(%)



<学校コメント>

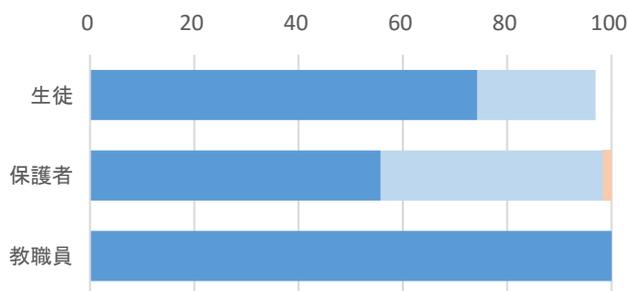
○肯定的回答は、生徒100%、保護者96.7%である。今年度は、1日1回以上の更新を目指している。修学旅行や学習旅行、中体連の大会等については速報を掲載するようにし、生徒の活動の様子をより把握していただけるよう努めた。
 今後も、保護者、地域の方々が知りたい情報を、正しくお伝えできるホームページにしていきたい。

質問19 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (保護者) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (教職員) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。

19	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	74.2	22.7	0.0	0.0
保護者	55.7	42.6	1.6	0.0
教職員	100.0	0.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的回答は、生徒100%、保護者98.4%となった。昨年度より、さらに上昇している。今年度は校庭周辺の除草や整地、教科教室型の教室環境整備等を行った。校舎の老朽化は否めないが、修繕を加えながら安全で整った教育環境が充実するよう努めていきたい。

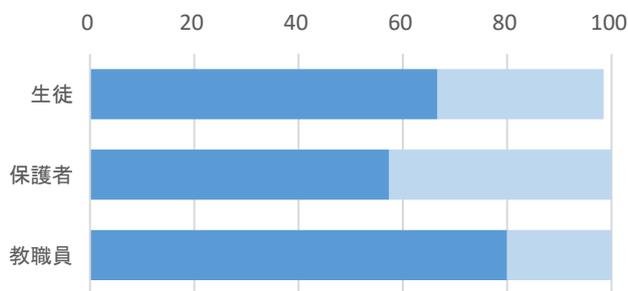
であった。

質問20 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、家庭や地域との連携を適切に行っていますか。
 (保護者) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。
 (教職員) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。

20	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない			
	A	B	C	D
生徒	66.7	31.8	0.0	0.0
保護者	57.4	42.6	0.0	0.0
教職員	80.0	20.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○生徒、保護者、教職員それぞれで、100%の肯定的回答が得られた。今年度は学校行事を参観いただけるよう、できるだけ制限をなくした。文化祭には多くの保護者、地域の方々に生徒の活動を参観いただくことができた。また、12月には、地元の方を講師に招き、2回の体験活動を実施することができた。

PTA奉仕作業や、授業参観には多数の出席をいただき、大変感謝している。